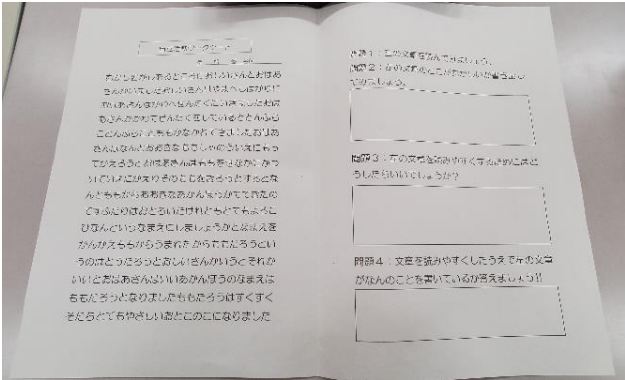


自作教具の活用事例

【作品名】 文章認知シート	【学校名】 日立市立滑川中学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動（⑥コミュニケーション） 各教科，国語	【制作者名】 佐藤 和哉
【制作の意図】 ひらがなのみの文章を読むことで，句読点や濁点，漢字を用いる工夫が読み取りやすさに関わることを体験できるようにする。 単語や文節の認識に必要な能力を意識させる。	【使用方法】 授業プリントを用いて行う。 1 ひらがなで書かれた文章を読み取る。 2 漢字が用いられていないことや濁点がないこと、句読点がないことなど文章を読んで気づいたことを書き出す。 3 文章を読みやすくする工夫を考える。 4 3で考えた工夫を施し，何を書いてあったのかを答える。
【制作上の工夫】 ひらがなのみで書かれた文章を読み取ることで，読みづらさを実感できるようにする。 読みづらさを実感した後，実際に読みやすいように文章を直すことによって，文章で用いられる句読点や漢字の意味を考えることができるようにする。	【見取り図】 教卓 学習者 学習者 学習者 学習者
【写真】  	【使用効果と応用発展】 句読点や濁点，漢字などを用いて文章を読みやすい形に変えることができるようになった。 今回は「桃太郎」を題材にしたため，文章の内容に予測が付きやすかった。そのため，長文や英単語入りなどを含めながら，オリジナルの文章を用意することで，より文章の区切りを意識しながら読み取ることが期待できる。
【材料・材質・部品等】 授業プリント	